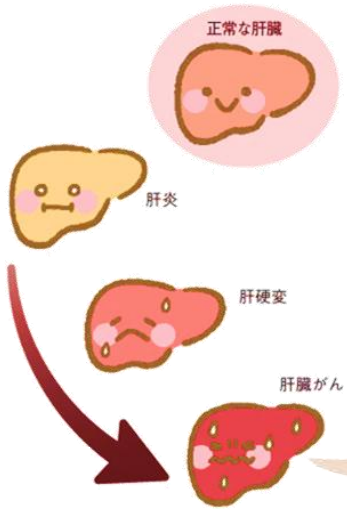


7月28日は世界肝炎デー

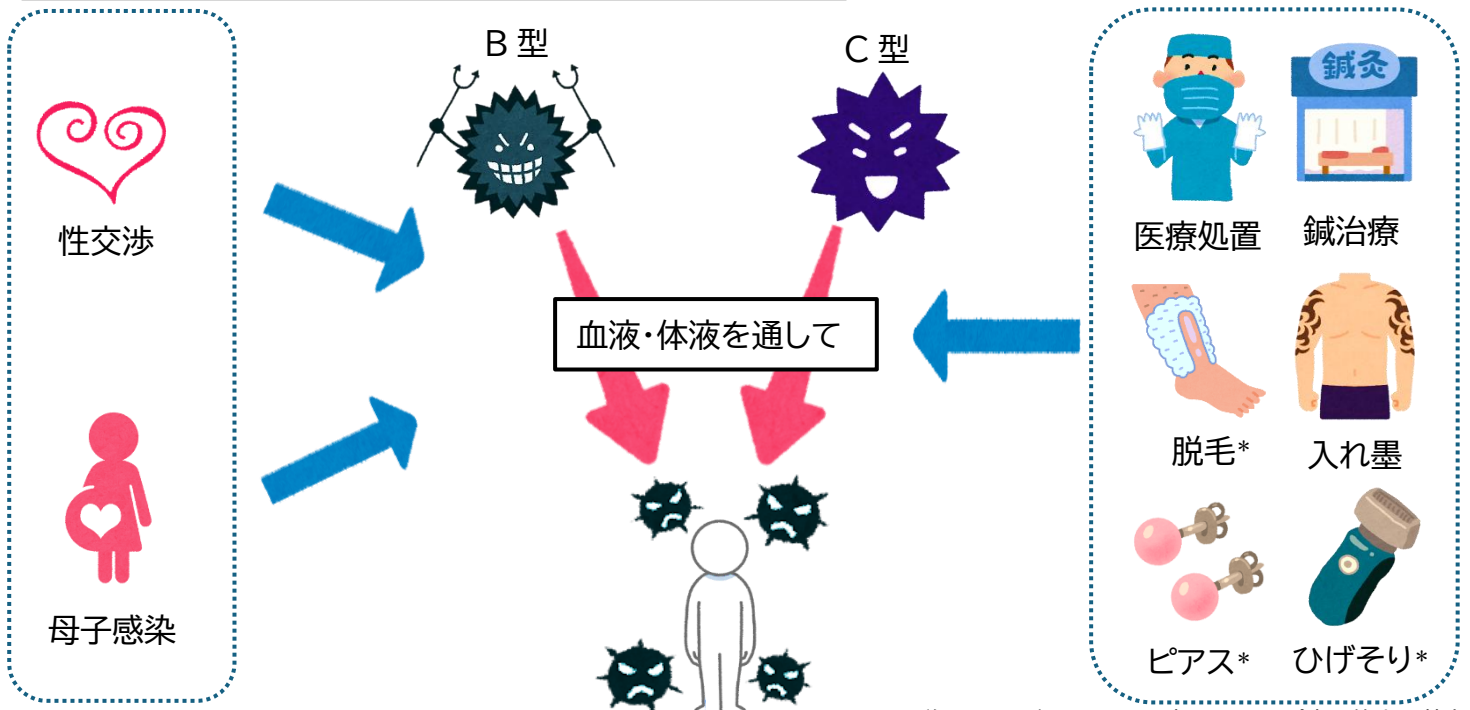
ウイルスが体内にいるのか、いないのか、知らないままでいいですか？



「肝炎ウイルス」は、感染すると**肝臓の炎症**を引き起こすウイルスで、A型からE型まであります。その中でB型とC型は慢性的な感染状態(キャリア)になることが知られています。B型、C型とも、血液を介してウイルスが体に入り、一定の割合で感染します。肝炎ウイルスに感染すると、自覚症状のないまま、しだいに**肝炎、肝硬変、肝臓がん**へと病態が進行していく可能性があります。

肝がんの原因の約70~80%は肝炎ウイルスです。

⚠ B型・C型肝炎は血液や体液を通じて感染します。



*剃刀やひげそり、ピアス(ピアッサー含)を他人と共有した場合

※ []内は肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為

HBs抗原:陽性(+) = B型肝炎ウイルスに感染している
ワクチンを接種し、感染予防が可能。

HCV抗体:陽性(+) = C型肝炎ウイルスに感染している、もしくは、感染既往者
ワクチンが存在しませんが、内服薬で95%以上のウイルスを排除可能。

陽性(+)なら肝臓専門医がいる病院を検索し、精密検査で肝臓の現在の状況を調べましょう。
市区町村における検診や職域における健診で検査を受けられるか確認してみましょう。

肝炎ウイルス検査(HBs抗原・HCV抗体検査)を受けたことがない佐賀県民は**無料**で受けられますので、検査を受けてみましょう！